

WHITE & CASE

プレスリリース

報道関係者各位

ホワイト&ケース、

武田薬品工業による Shire 社の買収資金の融資で国際協力銀行に助言

2018 年 12 月 4 日、東京 … グローバル・ローファームであるホワイト&ケース LLP（以下「ホワイト&ケース」）は本日、株式会社国際協力銀行（以下「JBIC」）が武田薬品工業株式会社（以下「武田薬品」）との間で、アイルランド法人 Shire plc（以下「Shire 社」）の買収資金（買収総額：約 460 億ポンド）の一部として、融資金額 37 億米ドル（JBIC 分）の融資契約を締結した案件について、JBIC に助言したことを公表しました。

同融資は、JBIC と民間金融機関との協調融資によるもので、協調融資総額は 157 億米ドル相当です。同融資は、武田薬品の海外事業展開を支援するものであり、日本企業による海外での M&A に必要な長期外貨資金を供給することで、日本企業の海外における事業拡大や新たな事業展開を支援し、日本の産業の国際競争力の維持および向上に貢献するものです。

武田薬品は、Shire 社の買収により同社が取り組む重点領域である消化器系疾患およびニューロサイエンス（神経精神疾患）の 2 領域を強化する方針です。また、希少疾患向け医薬品および血漿分画製剤においてもリーディングポジションを確立し、日本に本社を置く研究開発型のグローバル製薬企業への変革を加速することを企図しています。加えて、世界最大規模かつ今後も高い成長率が見込まれる米国市場で高い売上比率を有する Shire 社の買収により、海外における成長の更なる推進力を獲得することが可能となります。なお、武田薬品は同買収により売上高ベースで世界の製薬企業トップ 10 入りを果たす見込みです。

ホワイト&ケースでは、東京オフィスのパートナーである洞雞敏夫とサイモン・コリンズが率いるチームが同案件を担当しました。ロンドンオフィスのパートナーであるフィリップ・ブロークとジャクリーン・エヴァンズ、東京オフィスのアソシエイトである西村佳祐、ロンドンオフィスのアソシエイトであるクリストファー・ビアドモアも同案件担当チームに参加しました。

ホワイト&ケースについて

ホワイト&ケースは、世界 30 カ国 44 抱点を擁する国際的な法律事務所です。米国系法律事務所として早くから国際化を果たし、国境を越えた経済活動において求められるすべての法域に関して助言を提供しています。世界各地に所在する抱点を統合したグローバルネットワークの提供する価値と、各地域に米国法、英国法および現地法の弁護士等を擁する体制に基づく国際的法務業務への対応力に対し、クライアントから高い評価を得ており、複雑な国際取引案件や仲裁・訴訟の代理業務などで助言を提供しています。